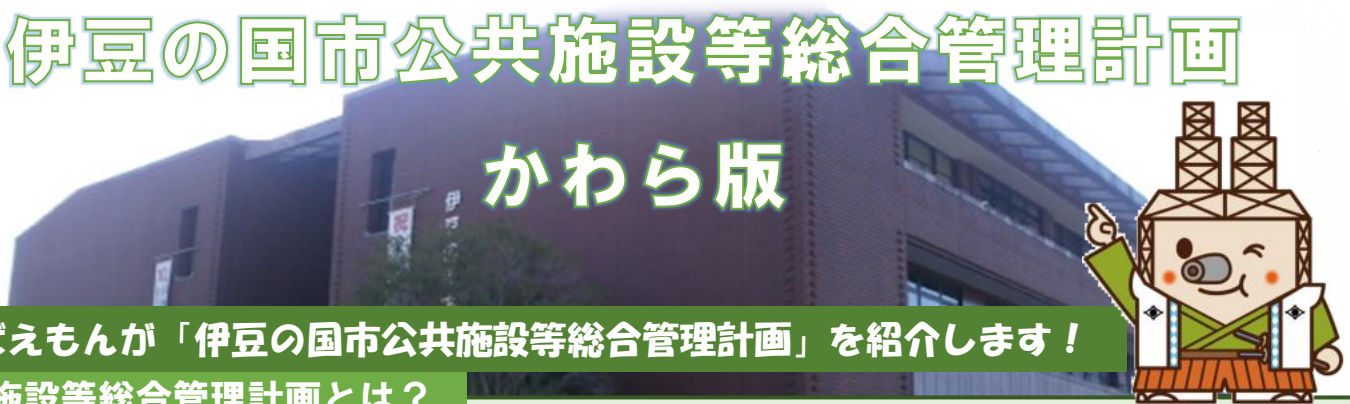
伊豆の国市公共施設等総合管理計画

かわら版



韮山反射炉 PR キャラクター
てつざえもん

てつざえもんが「伊豆の国市公共施設等総合管理計画」を紹介します！

公共施設等総合管理計画とは？

伊豆の国市公共施設等
総合管理計画って？

国及び地方公共団体の状況

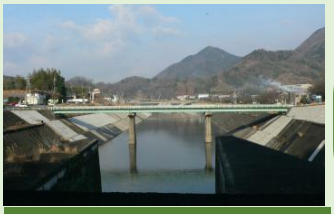
〇公共施設等の老朽化による重大な事故の発生
（平成 24 年 笹子トンネル天井板落下事故 等）
〇人口減少、少子高齢化の進行などによる公共施設の利用需要の変化

本市の状況

〇公共施設の老朽化の進行、利用需要の変化が見込まれる
〇将来的に人口減少に伴う税収の伸び悩み
〇高齢化社会の進行に伴う社会福祉関連経費の増大

「伊豆の国市公共施設等総合管理計画」は、人口減少や少子高齢化等による公共施設等の利用の変化などの本市の状況などを踏まえ、今後の公共施設等の適正な配置を実現するための基本的な考え方をまとめたものだよ

公共施設



インフラ資産

計画期間：平成 28 年度から
平成 57 年度までの 30 年間
※今後の上位・関連計画の見直しや社会情勢の変化などの状況に応じて適宜見直し

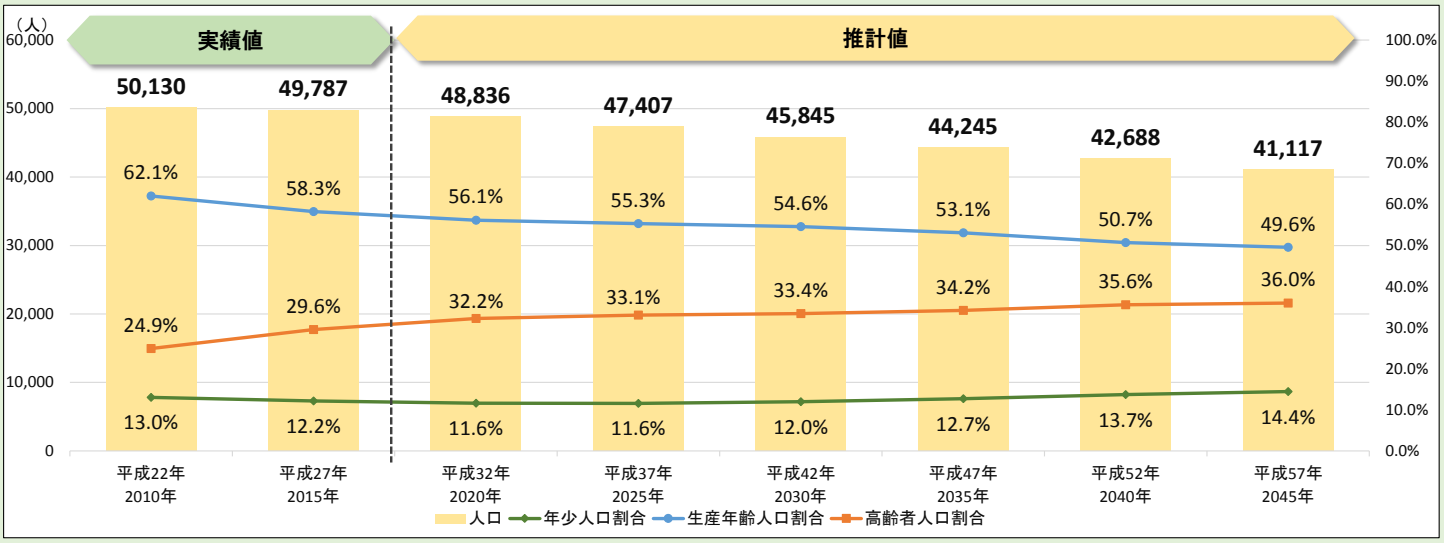
計画期間は、平成 28 年度から平成 57 年度までの 30 年間で、庁舎、図書館、学校などの公共施設と、道路、橋りょう、上下水道などのインフラ資産を対象にしているよ

まずは、伊豆の国市の公共施設等を取り巻く状況をみてみよう！

人口の現状と見通し

【将来人口の推移】

人口が減少し、少子高齢化が進行していくと推計されているよ

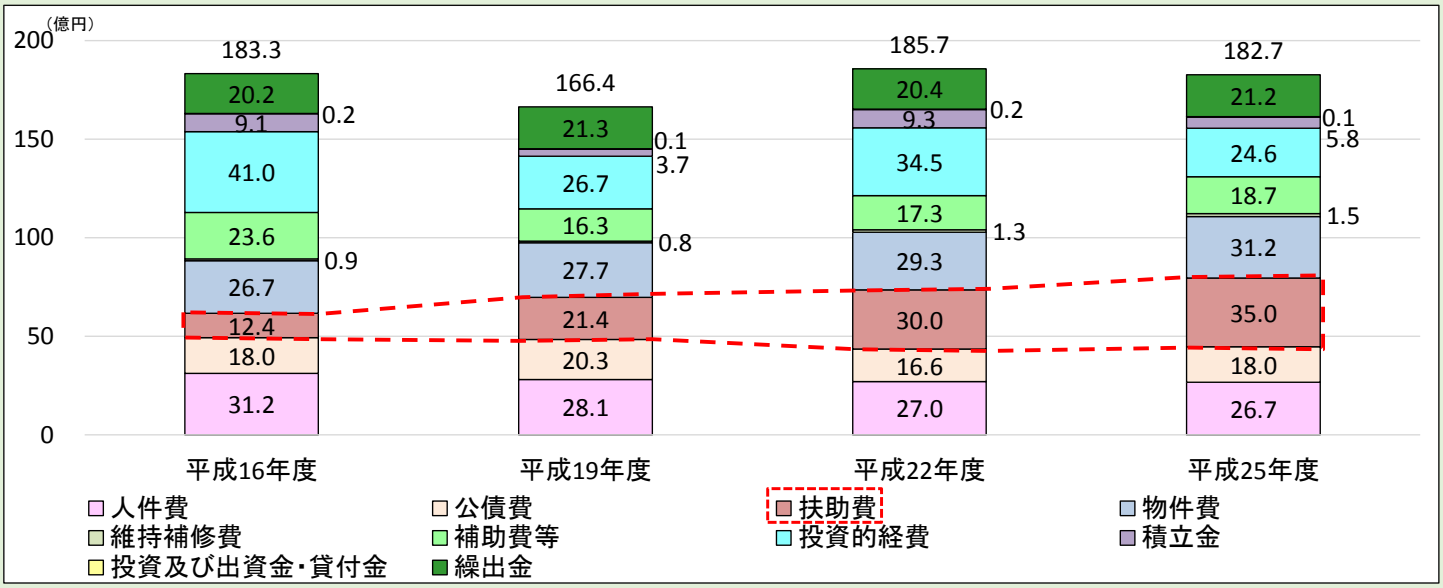


年少人口：0～14 歳　生産年齢人口：15～64 歳　高齢者人口：65 歳以上

出典：出典：住民基本台帳（平成 22 年、平成 27 年）、伊豆の国市人口ビジョン（平成 32～平成 57 年）

財政の状況と見通し

【歳出の推移】



扶助費：社会保障制度の一環として、生活保護法などの各種法令に基づいて支払われる経費、及び地方公共団体が単独で行っている住民福祉に要する経費

投資的経費：公共施設等の更新や改修等の整備にかかる経費

【歳入】

将来、働く世代の人口減少が予測され、大幅な税収の伸びは期待できない状況になっているよ

【歳出】

少子高齢化の進行などにより、社会保障関連経費の増加が見込まれているため、投資的経費を現在の水準で維持していくことが困難になると想定されるよ

公共施設等の状況

公共施設全体の延床面積の約 40％を学校教育系施設が占めているよ

【公共施設一覧】

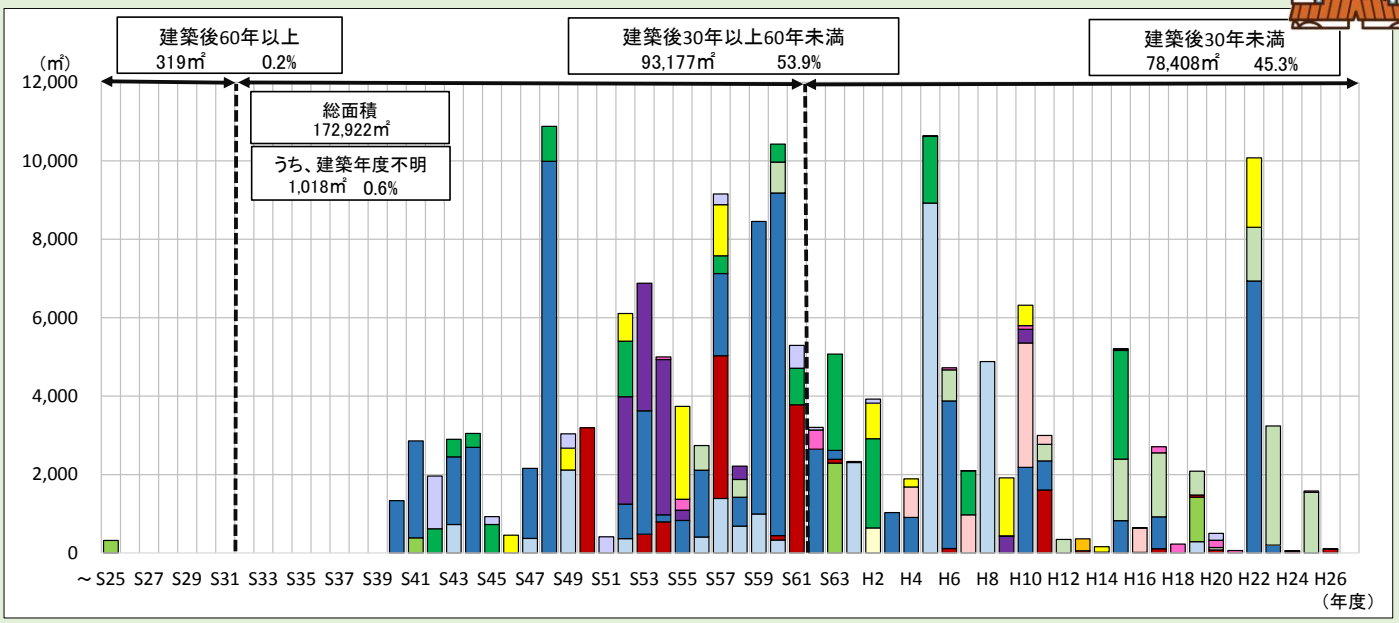
施設分類	施設数（施設）	延床面積（㎡）	構成比（%）
市民文化系施設	14	23,801	13.8
社会教育系施設	5	4,197	2.4
ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系施設	18	14,340	8.3
産業系施設	1	304	0.2
学校教育系施設	14	66,044	38.2
子育て支援施設	19	13,270	7.7
保健・福祉施設	6	6,009	3.5
医療施設	1	643	0.4
行政系施設	6	11,333	6.6
公営住宅	12	16,615	9.6
公園	18	2,257	1.3
供給処理施設	11	10,403	6.0
その他	14	3,706	2.1
合計	139	172,922	100.0

【インフラ資産一覧】

分類	種別	施設数等
道路	一級市道	33,021 m 213,829 ㎡
	二級市道	98,087 m 567,043 ㎡
	自転車歩行者道	2,103 m 7,165 ㎡
	その他の市道	524,926 m 2,236,559 ㎡
	計	658,137 m 3,024,596 ㎡
橋りょう	橋りょう	3,091 m 18,365 ㎡
上水道	管路	260,441 m
	附帯施設	34 施設 1,202 ㎡
下水道	管路	165,959 m
農道	農道	140 m 420 ㎡
林道	林道	19,866 m 4,158 ㎡
農業用灌漑用水	パイプライン延長	20,100 m

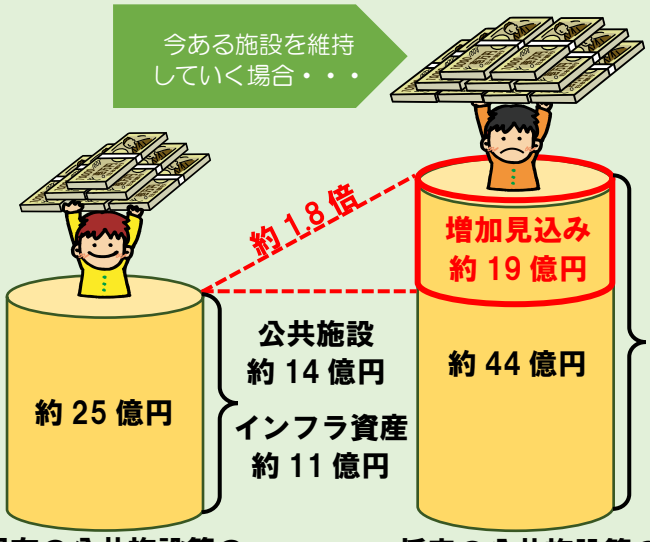
【公共施設の建築年度別延床面積】

建築後 30 年以上経過した施設が全体の約半分を占めるよ



公共施設等の将来の更新等費用の見通し

今ある施設を維持していく場合・・・



現在の公共施設等の更新等費用（年間）※1

将来の公共施設等の更新等費用（年間）※2

今後、更新時期を迎える公共施設等が多くなり、財政面での負担が増加し、全ての施設を維持していくことが困難な状況になることが予想されるよ

※1：公共施設に係る投資的経費の平成 17 年度～平成 25 年度の平均とインフラ資産にかかる投資的経費の平成 21 年度～平成 25 年度の平均の合計

※2：今後 30 年間の公共施設等の更新等費用の年平均。「公共施設等更新費用試算ソフト」（総務省監修）により試算

伊豆の国市の公共施設等を取り巻く課題を整理したよ！

①人口減少、少子高齢化への対応

○人口構造の変化は、施設の役割・ニーズに大きな影響を及ぼすことから、時代の変化に対応した市民サービスを提供していくとともに、経費の縮減に結びつく適正な公共施設の規模及び配置を検討していく必要があります。

②厳しい財政状況への対応

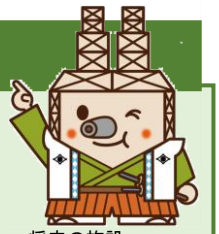
○今後の厳しい財政状況を見据えて、公共施設等の更新・維持管理・運営に係る費用の抑制などを検討していく必要があります。

③公共施設等の老朽化への対応

○老朽化した公共施設等は、計画的な改修、更新などを行うことにより、公共施設等の安全性確保に向けた取り組みが必要です。

人口や財政、公共施設等の状況を踏まえた対応を検討する必要があるよ

公共施設等の目標をまとめたよ！



継続可能なサービスの提供

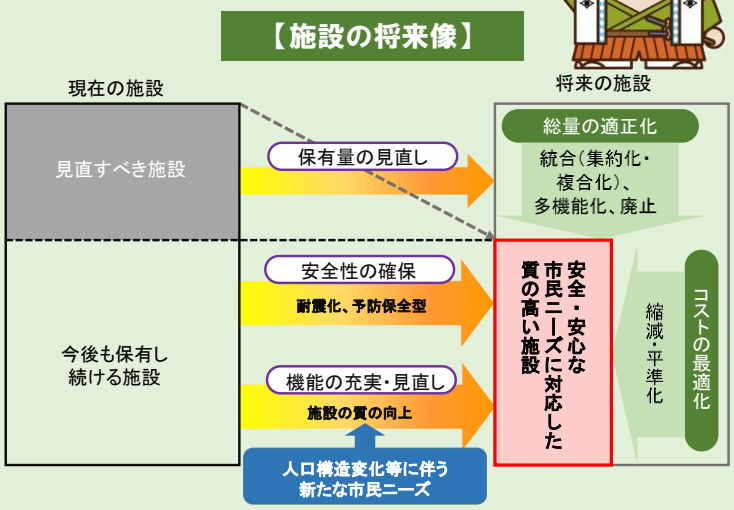
○公共施設の統合（集約化・複合化）、多機能化、廃止などによる総量の適正化
○民間の活力や運営の工夫などによるコストの最適化

安全で安心な公共施設の提供

○損傷などが発生した後に修繕などを行う「事後保全型」から、計画的に保全や改修を行う「予防保全型」へと転換

新たなニーズに対応した市民サービスの提供

○ニーズの変化に対応し、施設の質の向上
○公共施設の新設は前提とせず、集約化・複合化などにより、機能の充実・見直し



公共施設の保有量の削減やより効率的な維持管理により、安全・安心な市民ニーズに対応した質の高い公共施設等を将来にわたり維持することが必要だよ

今後の管理に関する大方針をまとめたよ！

公共施設

施設保有量の最適化

○原則として、新規整備を行わず、今後の財政状況、人口減少社会を見据え統合（集約化・複合化）、多機能化、廃止などによる施設の縮減と再編を進め、施設保有量の適正化を図ります。

予防保全型への転換

○点検・診断などを実施するとともに、予防保全型の維持管理への転換を図り、施設の長期利用及び、安全性の確保に努めます。

効率的・効果的な運営

○維持管理・運営に係るコストの縮減やサービスの質の向上につながる事業手法などを検討し、運営コストの最適化を目指します。

インフラ資産

計画的な維持管理・更新

○インフラ資産は、市民の生活や産業を支える都市基盤施設であることから、必要性や機能などを考慮し、優先度に応じた計画的な整備・維持管理・更新を図ります。

長寿命化によるコストの抑制と平準化

○予防保全型の維持管理などによる長寿命化を推進し、コストの抑制と平準化を図るとともに、災害などに強い整備を行い安全性の確保に努めます。

大方針を踏まえて保有量と整備コストの目標を設定したよ！

●公共施設の更新等費用を今後 30 年間で 33%削減
・目標１　公共施設の保有量（延床面積）を今後 30 年間で 25%削減
・目標２　公共施設の整備コスト(維持管理コストは除く)を今後 30 年間で 8%削減
●インフラ資産については、市民の生活や産業を支える都市基盤施設であり縮減が困難な場合があることから、計画的な維持管理を推進し、コストの抑制と平準化を図っていきます。

伊豆の国市公共施設等総合管理計画　かわら版
発行　平成 28 年 3 月
編集　伊豆の国市　市長戦略部　政策戦略課

〒410-2292　伊豆の国市長岡 340-1
電話　055-948-1415
FAX　055-948-2915